

地域福祉講演会

「住民力が地域福祉の充実につながる」とは？



～NHKドラマ10
「サイレント・ペア」の監修から～

誰もが安心して住み慣れた地域で暮らし続けたいという願いを実現するため、私たちができることを一緒に考え、一宮市の地域福祉をすすめましょう！

講師



豊中市社会福祉協議会
地域推進室長

かつべ れいこ
勝部 麗子 氏

日時

平成**30**年**12**月**8**日(土)
午後1時30分～3時30分

会場

一宮地場産業ファッションデザインセンター
大和町馬引字南正亀4-1

参加費

無料 ※事前申込不要

プロフィール

大阪府豊中市生まれ。1987年豊中市社会福祉協議会へ入職。ごみ屋敷やひきこもりなど、さまざまな制度の狭間の問題を、社会の中の「声なき声」「地域の課題」として捉え、地域住民とともに解決に取り組んでいます。

【主な出演・著書】

◆NHKドラマ10「サイレント・ペア」主人公のモデル・監修

◆NHK「プロフェッショナル仕事の流儀」出演

◇ひとりぼっちをつくらない「コミュニティソーシャルワーカーの仕事」

出版社:全国社会福祉協議会



赤い羽根共同募金

主催:一宮市社会福祉協議会 【問合せ】本部 Tel.85-7024

※この事業は、赤い羽根共同募金の配分金を財源に実施しています。

広島県呉市に災害ボランティアへ行ってきました

8月20日から22日に、愛知県社会福祉協議会が主催する「平成30年7月豪雨災害被災地災害ボランティアセンター支援バス」にあいち防災リーダー会いちのみや支部の方と参加し、広島県呉市を訪れました。今回は水害からの復旧ということで、土砂や泥のかき出しを行いました。住居の側溝など狭い場所での作業は、なかなか効率的に行うことができませんでした。9人のグループで活動し、10mほどの側溝をかき出すのに一日かかったほどです。

発災から2ヶ月近くが経ってからの訪問でしたが、土砂や泥がまだまだたくさん手付かずの状態が残っていました。そんな中、協力していただけるボランティアの方は、残念ながら減少傾向にあります。これからも長期的に人手が必要になると予測されるので、社会福祉協議会として支援の方法を考えていかなければいけないと感じました。



ボランティアセンター受付

側溝泥の堆積

職員:星川